

令和2年9月1日付け基発 0901 第10号「石綿障害予防規則第3条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者に係る具体的事項について」新旧対照表

改正後	改正前
<p>石綿障害予防規則<u>第三条第六項</u>の規定に基づき厚生労働大臣が定める者に係る具体的事項について</p> <p>石綿障害予防規則<u>第三条第六項</u>の規定に基づき厚生労働大臣が定める者（令和2年厚生労働省告示第277号。以下「告示」という。）については、令和2年7月27日に告示されたところであり、令和5年10月1日から施行することとされている。</p> <p>(略)</p> <p>記</p> <p>1 (略)</p> <p>2 学科講習及び実技講習（以下「講習」という。）の内容及び講師（第2条関係）</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実技講習（第2条第3号関係）</p> <p>実技講習は、次表の左欄に掲げるいずれかの方法について、それぞれ同表の中欄に掲げる内容について行われるものであること。なお、実技講習の時間については、それぞれの分析の実施方法について習得するために必要な時間行うこととし、次表の右欄に掲げる時間を目安とすること。</p>	<p>石綿障害予防規則第3条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者に係る具体的事項について</p> <p>石綿障害予防規則第3条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者（令和2年厚生労働省告示第277号。以下「告示」という。）については、令和2年7月27日に告示されたところであり、令和5年10月1日から施行することとされている。</p> <p>(略)</p> <p>記</p> <p>1 (略)</p> <p>2 学科講習及び実技講習（以下、「講習」という。）の内容及び講師（第2条関係）</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実技講習（第2条第3号関係）</p> <p>実技講習は、次表の左欄に掲げるいずれかの方法について、それぞれ同表の中欄に掲げる内容について行われるものであること。なお、実技講習の時間については、それぞれの分析方法について習得するために必要な時間行うこととし、次表の右欄に掲げる時間を目安とすること。</p>

(略)

分析方法	内容	時間の目安
(略)	(略)	(略)

(3) (略)

(4) 講習の講師 (第2条第6号関係)

ア 学科講習

(略)

科目	内容	講師の要件
(略)	(略)	(略)
分析方法の原理と 分析機器の取扱方法	<p>・ 光学顕微鏡の基礎知識(原理と構造)</p> <p>① 光学顕微鏡に関する研究・教育 経験に有する者であること。</p> <p>② 光学顕微鏡の開発、製造、品質管理等の実務</p> <p>※ 電子顕微鏡に関する実務に従事した経験も有していることが望ましいこと。</p>	

(略)

分析の実施方法	内容	時間の目安
(略)	(略)	(略)

(3) (略)

(4) 講習の講師 (第2条第6号関係)

ア 学科講習

(略)

科目	内容	講師の要件
(略)	(略)	(略)
分析方法の原理と 分析機器の取扱方法	<p>・ 光学顕微鏡の基礎知識(原理と構造)</p> <p>① 光学顕微鏡に関する研究・教育 経験に有する者であること。</p> <p>② 光学顕微鏡の開発、製造、品質管理等の実務</p> <p>※ 電子顕微鏡に関する実務に従事した経験も有していることが望ましいこと。</p>	

	(略)	(略)	(略)
イ・ウ (略)	イ・ウ (略)	イ・ウ (略)	イ・ウ (略)
3 (略)	3 (略)	3 (略)	3 (略)
(1) (略)	(1) (略)	(1) (略)	(1) (略)
(2) (略)	(2) (略)	(2) (略)	(2) (略)
ア (略)	ア (略)	ア (略)	ア (略)
イ	イ	イ	イ
(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)

5年以上、石綿含有材料の分析の実務に従事するとともに、講習実施日から遡って3年以内に、指導を担当する石綿含有材料の分析の技術に関して、公益社団法人日本作業環境測定協会が実施する「石綿分析技術の評価事業」又は一般社団法人日本環境測定分析協会が実施する「建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）」に相当する外部評価を受け、合格等している者であること。

講習を実施した者は、講習を修了した者に対し、修了した科目名を記載した修了証を発行すること。講習の一部を修了した者に対しては、当該修了した一部の講習に係る修了証を発行することができること。

講習を実施した者による報告等
 講習を実施した者は、毎事業年度経過後2か月以内に、実施科目、講師名及びその要件、講習実施回数並びに講習の修了者数について、厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課

5年以上、石綿含有材料の分析の実務に従事するとともに、講習実施日から遡って3年以内に、指導を担当する石綿含有材料の分析の技術に関して、公益社団法人日本作業環境測定協会が実施する「石綿分析技術の評価事業」又は一般社団法人日本環境測定分析協会が実施する「建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）」に相当する外部評価を受け、合格等している者であること。

講習を実施した者は、講習を修了した者に対し、修了した科目名及び実技講習において行った分析の実施方法を記載した修了証を発行すること。講習の一部を修了した者に対しては、当該修了した一部の講習に係る修了証を発行することができること。

講習を実施した者による報告等
 講習を実施した者は、毎事業年度経過後2か月以内に、実施した科目名及び実技講習において行った分析の実施方法、講師名及びその要件、講習実施回数並びに講習の修了者数について、

<p>厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課に報告すること。</p> <p>また、講習を実施した者は、講習修了者について、氏名、生年月日、修了した科目名、実技講習において行った分析の実施方法及び講師名並びに修了年月日を記録した帳簿を備え、5年間これを保存すること。</p> <p>(5) (略)</p> <p>4 (略)</p>	<p>に報告すること。</p> <p>また、講習を実施した者は、講習修了者について、氏名、生年月日、受講科目、講師名及び修了年月日を記録した帳簿を備え、5年間これを保存すること。</p> <p>(5) (略)</p> <p>4 (略)</p>
---	---